

保護者懇談会開催

五月十八日(土)、保護者懇談会を実施しました。今年度は、八組の保護者様、ご家族様の参加となりました。所長の挨拶をはじめ、就労B型の事業説明、グループホームの事業説明等を行いました。保護者様からの質問では、他法人での虐待報告を含め、当事業所での虐待防止に向けた取り組みについての質問などもあり、改めて利用者様、保護者様が安心できるサービスを提供していかなければいけないと感じました。

懇談会終了後は作業終了後のレクリエーション(ポッチャ)を見学していただきました。ゲームに参加してくださった保護者様もいらっしゃり大盛り上がりとなりました。また、昼食では今年から初めて保護者様へ給食を食べていただきました。当日の給食は味噌カレー牛乳ラーメンでしたが、利用者様にも保護者様にも「美味しかった」と言っていたくださりとても好評でした。

ご参加いただけなかったご家族様も含め、今年度も就労サポートセンターはくちょう、グループホームスワンハイムをよろしく願っています。



(秋元)

防災訓練実施

五月十五日(水)、当事業所内にて防災訓練を行いました。今回は作業中に地震が発生した後津波を想定した訓練で、普段作業を行っている当事業所一階から二階へ逃げる垂直避難を行い、利用者さん全員が職員の指示に従って二階へ避難しました。職員はもちろんのこと、利用者さんも防災訓練に対して真剣に取り組んでいました。

今年度は火災想定避難訓練を二回、不審者対応訓練を一回予定しています。当事業所は、海・山・川が近いこともあり、地震や津波、大雨に関して特に警戒し、営業しています。これからも利用者さんが安心して通所できる施設を目指してまいります。(澤谷)



新任職員紹介

四月一日付

就労継続支援B型(はくちょう)【支援員】 澤谷 樹理(さわや じゅり)



障害者総合支援センターなつどまりさつき寮から異動となりました。より良い生活を送ることができるよう日々の作業やスポーツなどを通じて支援していくことができると張り合っています。

編集後記

新年度となりました。職員も利用者さんも増え、ますますぎやかに過ごしています。

さて、当事業所は旧浅所小学校の校舎を使用しています。が、花壇も小学校だったの時の球根がそのまま残っています。毎年春になると、利用者さんみんなで花壇の手入れを行っており、今年もきれいなチューリップやクロッカスがたくさん咲きました。また来年もたくさんのお花が咲くのを皆さん楽しみにしています。(荒内)



所長あいさつ



所長 木村 修

暑い日が続いておりますが、皆様にかれましては、いかがお過ごしでしょうか。日頃より、当センターをご利用される利用者様をはじめ、ご家族、地域の皆様、その他多くの方々より温いご支援とご協力をいただき、心よりお礼と感謝を申し上げます。まずは、令和六年一月に発生いたしました石川県能登半島地震により犠牲となられた皆様へ心から哀悼の意を表するとともに、被災された皆様へお見舞いを申し上げます。また、一日も早い復興を心から願っております。

さて、当センターは開設以来、事業所の理念及び基本方針のもと、地域の中で日々の生活に安心と生き甲斐を感じながら、その人らしい生活を送ることができよう、一人ひとりの思いに寄り添った支援体制の充実に取り組んでいる所存です。

令和六年度においては、医療・介護・障害福祉サービスのトリプル報酬改定により、幅広い制度改正によって事業運営にも大きな影響を及ぼしましたが、如何なる理由によって利用される方に不

【発行者】

就労サポートセンターはくちょう

平内町大字福館字雷電林1番地50

TEL 017 (762) 7803

FAX 017 (755) 5602

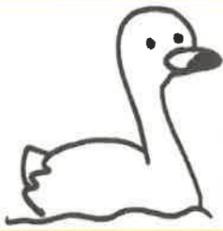
http://www.syusapo-hakuchou.com/

【発行日】

令和6年6月28日【第22号】

はくちょう通信

Vol.22



《事業所理念》地域の中で、自分らしく、生き生きとした生活を続けられるサポートをします

利益が生じないよう、更なるサービスの質の向上に努めていきます。今年度における事業運営におきましては、権利擁護の推進、人権尊重を支援の根幹とし、基本計画(令和五年(令和七年)及び事業計画に則った福祉サービスの提供に努めます。特に、重点的に取り組む課題として五項目掲げました。

一つ目の、「利用者の特性に応じた支援体制の構築」については、多様なニーズに適したきめ細かいサービス提供を目的に、各種研修へ積極的に参加し職員の資質向上と専門性を高めるとともに、権利擁護の推進に向けた啓発活動と利用者本位のサービス提供に向け、意思決定を尊重したサービス提供に努めます。

二つ目の「安定的経営基盤の構築」では、利用者さんが安心して継続した利用ができる体制作りに努めます。さらに、実習、体験利用を通じて、新規利用者の受け入れを進めていきます。

三つ目として、「感染症予防・災害発生時における管理体制の整備」です。令和六年四月一日より、感染症及び自然災害等の不測の事態に備え、利用者の身体・生命の安全確保に加え、どのような状況に置かれても可能な限り速やかな復旧と事業が継続し続けられるよう、それぞれの内容に応じたBCP(事業継続計画)について整備することが

義務化となりました。今後の研修、訓練を通じて実効性のある内容に改善していきます。

感染症予防においては、新型コロナウイルスウィルス感染症の位置付けが感染症法上「二類から五類」に引き下げられ、社会的な制約の緩和等により、平常化へ向けた取り組みが進められています。利用者も多くは基礎疾患により重篤化するリスクが極めて高いことから、地域の感染状況に応じて感染症対策に努めていきます。災害対策については、相次ぐ自然災害のリスクに備え、計画的な訓練を行い利用者の安全対策に努めます。

四つ目の、「共同生活援助事業運営に係る体制整備」では、住環境の整備、障害の多様化、高齢化対策を含めた生活支援サービスの充実に努めます。五つ目として「生産活動の充実」です。利用者が主体的に生産活動へ取り組み、働く上で必要な知識及び作業技術向上に向けた訓練を行うことで、働く喜びとやりがいを感じられるよう支援します。

今後とも皆様のご支援、ご協力等をいただきながら、地域に根ざし、共生できる施設として、職員一人ひとりが力を合わせ皆様の信頼にお応えできるよう努力して参りますので、一層のご理解とご協力を心からお願ひ申し上げます。

就労サポートセンターはくちょうより

【加工作業】	【清掃作業】	【その他の作業】
 ◎ホタテ養殖資材の加工 ・アゲピン刺し、取り ・養殖カゴの解体 ◎ホタテ貝殻の連結 ◎チラシ折り作業	 ◎福祉施設等の一般清掃 ・デイサービスセンター ・グループホーム ・公衆トイレ ◎事業所の一般清掃	 ◎除雪（避難路等） ◎除草・草刈り ◎塗装 ◎近隣保育園遊具設置 ◎独自・連携商品の開発

就労B型（はくちょう）の生産活動紹介

就労サポートセンターはくちょうでは、三つのグループに別れての生産活動を行っております。主な作業受託状況は次の通りです。

今後も積極的に作業を受注したいと考えておりますので、作業のご依頼をお考えの方は当事業所へご相談ください。

（齊藤）

令和5年度工賃実績

17,404円

【作業依頼のお問い合わせ】

各作業のお問い合わせは
017(762)7803
齊藤までご連絡ください。

地域交流の紹介



【浅所海岸清掃】

四月二十日（土）、毎年恒例の浅所海岸清掃に参加しました。事業所が出る時には穏やかな好天に思いましたが、いざ清掃場所の松島海岸に到着してみると体ごと吹き飛ばされるような強い風が吹いていました。それでもごみ袋いっぱい折れた木片や松ぼっくりを拾い集め、参加された皆さんと集合写真を撮りお土産をいただきお帰っていただきました。

（藤倉）

【東和保育園交流会】

五月二十九日（水）、所内から十名の利用者さんが東和保育園へ行き、園児達との交流会を楽しみました。当日雨予報だったため、はくちょうグラウンドではなく東和保育園のホールにて玉入れなどのレクリエーションを行いました。この交流会を通してより園児達と仲良くなることができました。

最後に園児達から創作品を利用者さんが受け取り、当事業所内に展示しました。

（澤谷）



【フラワールoadボランティア】

六月一日（土）、平内町教育委員会主催のフラワールoadボランティアに当事業所から十四名の利用者さんが参加しました。

当日は小雨が降る中カッパを着ての作業となりましたが、黄色とオレンジ色のマリーゴールドを交互にプランターに並べ試行錯誤しながら楽しんでいました。

プランターは町内の至る所に設置されており、見かけたときは皆さん喜んでいきます。

（鈴木）



グループホーム スワンハイムより

救命救急講習会

五月八日（水）、就労サポートセンターはくちょうの会議室で、基本的な心肺蘇生法及びAEDの使用法、誤嚥時の対応について講習会を行いました。

毎年行っている研修ですが、皆さん真剣そのもので、いざという時のお守りだと思つて取り組んでいました。誤嚥時の対応については、背部叩打法（はいぶこうたほう）と腹部突き上げ法を二人一組で行つてみました。「力加減が良く分かり勉強になった。」との声も聞かれていました。

今後もこの研修が生かせるよう頑張つていきます。

（田中）



今年の帰省の様子

令和五年五月八日より新型コロナウイルスが「五類感染症」に移行したことにより、平内町外への外出やゴールデンウィークの帰省を行う利用者さんが増えました。

基本的な感染対策は継続していますが、外出や帰省を楽しんでいる様子で、以前より利用者さんの笑顔が増えました。今後はグループホームの行事として、買い物や食事外出も企画しており、利用者さんに楽しんでいただけると嬉しいです。

（成田）



通報訓練実施

五月二十七日（月）夜、当事業所職員（B型・GH）全員を対象として、「緊急連絡網通信訓練」を実施しました。目的は火災発生や自然災害被害などの突発事案に対して、迅速かつ組織的に危機管理体制を確立するためのものです。訓練では職員間の緊急連絡網を活用して事案認知時の管理者通報から全職員までの事案概要伝達の所要時間とそれぞれの応召手段等を確認しました。

（岸本）



GHで男性職員も活躍しています

四月一日付

グループホーム（スワンハイム）

【世話人】 岸本 文男

（きしもと ふみお）



四月一日から、グループホームでの共同生活の支援業務に携わることになりました。岸本と申します。どうぞよろしく願います。



これまで就労支援業務を担当してまいりましたが、初めての生活支援業務となり、不慣れなこともあるかと思いますが、皆さんの共同生活をしっかりと応援できるように頑張つてまいります。

利用者さんを募集しています

グループホームスワンハイムでは入居者の方を募集しています。対象は障害者手帳（知的・身体・精神）をお持ちの方、または、市町村が利用を認定した方がご利用できます。

リーフレット等をご用意しておりますのでお気軽にお問い合わせください。

（木村）